



面白い！楽しい！怪しい！？

10/18 第1回地域資源活用人材育成セミナー

富士宮やきそば学会会長の渡辺英彦さんを招いたセミナーが10月18日、穂高総合支所で開かれました。渡辺さんは、安くておいしいB級ご当地グルメを全国に発信し、有志による活動のみで富士宮の名を知らしめました。講義では「市民活動で、面白く、楽しく、怪しく情報発信することが効果的なPRにつながる」と、話題づくりの重要性を強調しました。このセミナーは、全5回の地域資源活用人材育成セミナー（安曇野ブランドデザイン会議黒豆プロジェクト・市共催）の第1回として開かれたもので、商店主や団体の地域振興担当者など40人が参加しました。



信州DC イメージソングに

10/1 「愛する君へのひとりごと」発表会

市が製作したビデオエッセイ「夢への旅」のオリジナル楽曲「愛する君へのひとりごと」が、信州デスティネーションキャンペーン（信州DC）のイメージソングに採用されました。この曲は、カレッジ・ポップスの草分け的存在「フォー・セインツ」が市のために無報酬で製作したもので、わが子の人生に暖かく語りかけるバラード曲です。ボーカルの上原徹さんは10月1日の記者会見で、「都会を離れ家族と共に過ごす中で思いをつづった曲。多くの皆さんに親しんでいただければ」と話しました。

知ろう そして行動しよう

10/9、10 あづみ野環境フェア2010

今年で3回目となる「あづみ野環境フェア」が10月9日と10日の両日、堀金総合体育館で約1,500人の来場者を迎えて盛会に行われました。ブース展示やミニ講座、各種体験コーナーや人形劇などもあり、来場者は思い思いに各コーナーに足を止めていました。9日にはお天気キャスターとしておなじみの森田正光さんの講演会、10日にはアカゲラの巣箱づくり講座、また同時開催した市民大学講座ではテレビ信州の伊東秀一さんによる講演会も開催されるなど多彩な催しが行われました。

このうち、市内で多く発生している松くい虫の被害を減らすため、くるりん講座として行われたアカゲラの巣箱づくりには、親子連れなど28組の皆さんが参加。手際良く巣箱を完成させていました。お母さんと参加した村山由唯ちゃん（小2・豊科）は、「くぎをたたくのが面白かった。鳥が来てくれるととてもうれしいです」と話してくれました。この巣箱を11月には実際に設置し、12月には観察会も行われる予定です。



冬を彩る 3つの光

あづみ野光物語始まる

国営アルプスあづみの公園・ビレッジ安曇野・穂高温泉郷入口の八面大王の足湯周辺の3カ所を結ぶトライアングルイルミネーションが今冬も行われます。このイベントは、安曇野の冬を大勢の皆さんに楽しんでもらおうと、あづみの光物語実行委員会（宇留賀元亮・委員長）が企画。合同でPRなどを行い、3つのイルミネーションのほか、応募があった家庭や企業などのイルミネーションも掲載したマップを作成しています。すでに始まっている国営アルプスあづみの公園のイルミネーションイベントには、7日現在で5,635人が来園。6日の夜は、親子連れなどでにぎわい、展望テラスには青や白に瞬く光をカメラに収める大勢の人の姿が見られました。同園のイベントは12月30日まで。また、ビレッジ安曇野と穂高温泉郷入り口のイルミネーションは11月20日から来年1月末まで行われます。



野菜スイーツで 高め合う

10/19 安曇野産野菜スイーツ 試食会

地元産野菜を使ったスイーツ（菓子）づくりに取り組む安曇野ブランドデザイン会議料理開発プロジェクトは10月19日、18店が試作したスイーツの試食会を開催しました。この日は、軽井沢プリンスホテルの飯塚喜隆・総料理長と木曾駒旬彩工房の大澤孝浩・工場長がそれぞれの試食品を試食し、野菜の風味を生かす香辛料の使い方などについて、具体的にアドバイスしました。飯塚さんは、「どれもレベルが高い。情報交換を積極的に行って、さらに全体のレベルを上げてほしい」と話しました。完成したスイーツは12月26日（日）まで、参加店で販売しています。詳しくは市ブランド推進室（TEL82・3131 FAX82・6622）まで。



秋雨なんの 45頭が疾走

10/9 第42回安曇野観光草競馬大会

恒例の安曇野観光草競馬大会（安曇野競馬愛好会主催）が10月9日、市営牧運動場で開かれました。秋雨の降る中、45頭の競走馬やポニーが、1周400mのトラックを最大8周して競い合いました。また、初企画として、南房総市の道の駅や市内業者が出店。戦後の日本を代表する独創的な芸術家・飯田善国の作品を展示するIIDA・KANにも多くの人が訪れました。この日の観戦者は約1,500人。それぞれにスポーツ、食、芸術の秋を満喫している様子でした。